

e-dream-s通信

No. 17 発行：2001年11月11日 特定非営利活動法人 イー・ドリームズ

タスクプロジェクト始動と @aglance デザイン完成に向けて “EXPERIMENT & EXPERIENCE”

秋も深まってきました。今年の秋・冬は「タスク繚乱」の花を咲かせようと9月の会員総会で決定されました。私たち一人一人が自分の「したいこと」を考え、たくさんのプロジェクトを企画し、それに着手しようとしています。また、一方では教育用フォトアーカイブ @aglance のデザインの検討が進んでいます。e-dream-s 2001年度の活動テーマは、“EXPERIMENT & EXPERIENCE” まさに今、その実行の時が来ているのです。

ヒットの条件

辻 莊 一

歌手にとってヒットのあるなしというのは大変に大きな問題である。いくら実力があってもヒットがなければ名前も覚えて貰えないし、それこそ食べていけない。ヒットがあればそれを名刺代わりに運命を切り開いていくことができる。もちろん実力があつたらの話だが。

英語研修団体 ACROSS は、NPO法人イー・ドリームズとして広い世界に乗り出した。これは、アマチュアの歌手がプロデビューしたようなものだ。私達は自分たちのやってきたことには誇りも自信もある。四半世紀に渡って現職の教師達が誰の助けも借りず、自分たちの力だけで質の高い研修団体を維持・発展させてきたという事実だけでも充分称賛に値するだろう。そして私達は自分たちの教育に対する姿勢は普遍的なもので、私達は英語教育という分野に限らず、広く社会に貢献する力があると信じてきた。そして、NPO法人として新しい活動の場に乗出したのである。

しかし私達にはそれだけの実力が本当にあるのだろうか？私達のしてきたことは本当に普遍的価値のあることだったのだろうか？私達は情熱を持ち続けることができるのだろうか？主観的には答えは全てYESであるが、それは客観的には証明されてはいない。

わざわざNPO法人として活動を始めた以上、ACROSS という私的な研修団体という立場のままでも出来ることだけしかやらないのでは意味がない。イー・ドリームズを立ち上げなければ出来なかったことをやらなければ意味がないのである。その計画は遠大だ。事業内容を並べただけでも、教育支援事業、教育改革提言事業、教育ネットワーク事業、教材開発・制作の企画・請負及び販売事業、講演、研修などの企画、請負、主催事業、人材派遣事業の6分野に及ぶ。事業はいくつか具体的に始動しているが、ACROSSの枠を越えて活動しているのは現在のところ@aglance（写真アーカイブ）事業だけである。@aglanceが軌道に乗るかどうかが今後のNPO法人イー・ドリームズの運命が決まると言っても過言ではない。デビューしたての新人NPOイー・ドリームズにとって、@aglanceは勝負曲だ。これがヒットするかどうかが、この新人の将来を占うのである。ヒットすれば、このサイトを拠点として、様々に活動を広げていくことが可能であるが、ヒットしなければ、イー・ドリームズ全体の将来も危ぶまれる。私達はまさにその岐路に立っているとあってよい。

歌がヒットするかどうかを予測するのはほとんど不可能らしいが、教育用写真のウェブサイトということであれば、ヒットの条件はある程度条件がはっきりしている。それは、(1)

写真の数と（２）その使いやすさ、である。（１）については写真収集のタスクチームの頑張りにかかっている。最低でも10,000枚、多ければ多い程良い。（２）についてはポイントが二つ。検索エンジンや写真の分類法などのインターフェイスをどれだけこなれたものにするかと言う点と、現場の声を出来るだけ多く聞いて「使える写真」が何かと言うこととをよく調査することだ。「使える写真」については「小学校の先生プロジェクト」の報告、インターフェイスについては、どれだけ多くのイー・ドリームズ会員が@aglanceサイトを使い、その使い勝手を検証するかにかかっている。

さて、新人歌手イー・ドリーちゃんは自信作@aglanceを首尾良くヒットさせて大スターの道を歩むのか、それとも早々に引退して別の道を行くのか、目が離せませんな。

e-dream-s.come.true

パラドックスの世界：コーヒーを飲みながら

井川好二

Ehrnreich (2000)¹によると、21世紀を迎えた今、世界は「The Globalization Paradox」の時代だそうである。

消費文化、若者文化、IT化の広がりを中心に、世界の同一化、つまり Globalization、が進行する一方、こうした大きな潮流に逆行するかのようになり、地域社会の特色はますます強まる傾向にある。

Despite a degree of convergence, most fundamental differences in regional tastes, preferences, culture and religions have not suddenly disappeared with the invention of the word 'globalization' or the internet (Ehrnreich, 2000).

それぞれの地域に独特の嗜好、こだわり、文化、宗教などは、グローバル化に拮抗して、むしろ先鋭化されつつあると云う。

つまり、21世紀は、地球全体は一つの文化を共有する Globalization の時代ではなく、Globalization と Regionalism（地域主義）が併存するパラドックスの時代であると云う。

¹ Ehrnreich, H. (2000, December 21). The global paradox. Financial Times. On line, <http://www.globalpolicy.org/globaliz/cultural/0012pdx.htm>

例えば、日本におけるコーヒー文化の浸透は、Globalization の過程である。私が学生だった60-70年代は、喫茶店で飲む濃い目のフレンチローストが主流だった。午後には、ミルクをたっぷり入れたカフェオレを飲んだ。どういう訳か、カフェオレを注文すると、細長いグラスにステンレス製の取っ手を填めたのに入れて運ばれてきた。これは地域の嗜好。80-90年代には、薄目のアメリカン・コーヒーが主流になった。どうして、あの薄いコーヒーをアメリカンと呼ぶのか、いまだに謎ではある。同時に、コーヒーを「ホット」と呼ばずに、「ブレンド」と呼ぶ時代がやってきた。ブレンドとは、無論、一種類の豆のみのモカやブルーマウンテンに対する言い方である。カプチーノやエスプレッソもイタメシの普及に呼応して浸透した。「ドトール」などのセルフサービス・コーヒー専門店がはやり、「スタバ」の進出で、コーヒー文化が一気にアメリカ化して、今日を迎える。思えば、日本のコーヒー文化は、フランス、イタリアなどのヨーロッパ・モデルから、アメリカ型 Global コーヒーへと変化してきたと云える。

最近、エスプレッソをよく飲む。食事の後だけではなく、午後のコーヒーのつもりで飲むことも多い。そんなときは、カフェのウエイトレスに頼んで、カップにレモンを一搾り入れてもらうようにしている。これがいける。しかし、このエスプレッソ・レモンは、私のオリジナルではない。映画「ビバリーヒルズ・コップ」の確か、第1作だったと思うが、デトロイト市警の刑事役のエディ・マーフィーが、ビバリーヒルズの画廊を訪ねるシーンがあって、その画廊のマネージャーが、刑事にエスプレッソをすすめる。マネージャーは自分が飲みたいのかしきりにすすめ、「レモンを一搾り入れるとこれがまた旨いんだけどね」などと云う。結局エディ・マーフィーはこれを断るのだが、私の記憶の中には残ってしまった。それで、エスプレッソがいろいろなところで飲めるようになって、ある店で試してみるとこれがいけるのである。

何のことはない、ハリウッド映画によるカリフォルニア文化のグローバル化に一役買ってしまった私ではある。エスプレッソの本場イタリアで、このエスプレッソ・レモンがどういう位置づけになっているのかは分からない。しかし、私にとって、この私の最近の嗜好は、カリフォルニア=アメリカ=グローバル・スタンダードの一環であり、イタリアの個別文化とは直接の繋がりが無いことは明らかであろう。

しかし、サウジ・アラビアなどのイスラム世界のことを考えると、その Globalization Paradox のことがはっきりする。引き裂かれているのは日本だけでないことが、はっきりする。イスラム教は、アメリカを中心に展開されているグローバル化の外側にある。イスラム世界は、否応なしの消費経済のグローバル化と、宗教に基づく地域主義化 (Islamization) のパラドックスに引き裂かれている。

最近の Time²の記事に、サウジ・アラビアの首都リヤドにある al Massa というカフェのことが書かれている。

The terrace is crammed with young men, some in traditional cotton robes and Bedouin headdress, others in Western jeans and T shirts. They are watching teenage drivers peeling rubber through traffic, calling friends on cell phones and discussing Osama. Sipping cappuccinos and downing milk shakes, they admit to mixed feelings about last month's devastating attacks on the U.S. because of the innocent lives that were taken.

民族衣装を着てベドウィン族のターバンを巻いた青年や、T シャツにジーンズの若者が入り交じって、カプチーノを飲みながら、イスラムの「英雄」オサマ・ビン・ラディンを語り合う。アラブはコーヒーの本場かも知れないが、カプチーノと云うところがポイント。サウジでも、グローバルと地域主義が、混在している。ここも、パラドックスの世界。

こうした時代に求められる NPO 活動とは何か？ こうしたパラドックスの時代に、「教育」と「国際」と「コミュニケーション」をその活動のキーワードとするという NPO の存在意義とは何か？

コーヒーでも飲んで、頭をはっきりさせてから、しっかり考えてみよう。しかし、このパラドックス時代の NPO の活動原則は、地域主義、あるいは個別、を徹底し、その行き着いた先がグローバル、あるいは普遍、であると、見切る以外にはないように思うのだが… (Saturday, November 10, 2001)

¹ TIME: October 15, 2001 Vol. 158 No. 17

タスクプロジェクト事務局より

先月お知らせしましたようにタスクのグループ分けを行い、代表者を決めていただきました。提出いただきました企画書の検討をします。その上で修正等お願いする点が出てきましたら連絡を差し上げます。よろしくお祈いします。

* 代表の方は毎月進行状況をお知らせください。(e-dream-s 通信に掲載予定)

以下、グループ分けと代表者、企画書の簡単な内容をお知らせします。なお、企画書がまだのグループは早急に提出をお願いします。

² TIME: October 15, 2001 Vol. 158 No. 17

小学校の先生・プロジェクト（代表：石黒）

（１）岡崎節子、稲川宏美、藪友香子

e-dream-s 通信 2001.11 No.3

（２）大竹勇次、富永佐規子、石黒あかね、塩脇佐知子、志村洋子

（３）道面和枝

（４）インターネットプロジェクト(代表：小関)

インターネット上の海外写真サイトに写真アーカイブへの写真提供を依頼する。）

灰田穰、小関静枝、新谷幸子、増田洋子、吉本屋路子

（５）写真クラブプロジェクト（代表：前原）

写真アーカイブの充実のため全国の写真クラブ、愛好家等に依頼し、写真の提供を受ける。

飯田佐恵、前原三貢子、宮城英和、山本貴子、内田泰代

（６）HPコンテンツを考えるプロジェクト（代表：浅野）

会員のHPに対するニーズを調査し、e-dream-s ホームページをよりよくする。同時に積極的に講習を受け、ホームページ作成・更新の技術の向上を図る。

山本賢治、田辺恵美、浅野真希子、丸野有利子

（７）リンクページ作成プロジェクト

山本賢治、橋本真理、木村由美子、朴智美

* AB以外の分野のタスク

（８）NPO団体についての研究を行う 加藤兼市

（９）図書館などで読み書きかせをしている人を呼んでその実演とお話しの機会を設ける。表現読みについて勉強する。 志村洋子

（１０）**e-dream-s** ワークショップ：表現力を育てる英語の授業

劇団の俳優を講師に招き、表現力を育てる実践的な授業のための研修会を行う。

佐藤由美子

（１１）教育支援に関わるNPO、NGO団体リサーチプロジェクト

アジアの子供たちへの支援を中心としている団体にインタビューを行いその実体を知り、つながりをもつ。 岡田かおる

（１２）高橋常雄

（１３）**e-dream-s** 国際部の立ち上げ

ツアーなどを企画

井川好二、藤沢俊之、山田昌子、辰巳ゆきえ、須賀幸恵、河野良子
アーカイブ等インターネット関係の活動を企画
辻莊一、辻岡尚子、辰巳ゆきえ、塚本美紀

教育用フォトアーカイブサイト @aglance

e-dream-s が今後、中心的な活動として進めていくフォトアーカイブ事業。そのホームページ @aglance (現在作成中) をインターネットで見ることができることを先月号でもお知らせいたしました。もう、見ていただけましたか。西宮市在住のホームページデザイナーの高力さんが現在、精力的に取り組んでくださっています。私たちの望むものを作り上げていくためには、私たち自身がまず、使ってみて試す必要があります。以下の点について、必ず、全会員のみなさんのご協力をお願いします。

初めて見る方

1. インターネットで @aglance のサイトを見る。<http://www.e-dream-s.org/aglance>
すべてのボタンを押して使い勝手はどうか試してみる。
(できれば写真のプリントアウトなどもする。)
2. @aglance のトップページの左にある掲示板をクリックし、感想、意見、質問などを書き込む。

すでに見た方

@aglance のサイトは私たちの意見を反映させ、デザイナーが日々、よりよいものに作り変えていきます。今後も2～3日に一度は必ず見てください。また、その際には短文でも結構ですので、掲示板への書き込みをしてください。

以下は、@aglance のFAQのページから抜粋させていただきました。みなさんからの質問や意見を受けて、デザイナーがサイトの各ページや機能について解説をしています。世界に一つしかない教育用フォトアーカイブ @aglance のデザイン完成を目指して、たくさんの意見、アイディアを集結させましょう。

FAQ

現状のものをベータ版(試作)として、メンバーのみなさんのご意見をたくさん募って改善するのが目的です。ご意見は、掲示板にお願いいたします。(以下文責・高力)

目的

e-dream-s 通信 2001.11 No. 4

気に入った素材をそれぞれが残しておくためのブックマークです。

使い方

登録: 検索後の素材の解説3段の真中にある「あなたの素材集追加」をクリックするだけです。登録されたという画面に変わります。

表示: すべての検索画面の「あなたの素材集」をクリックするだけです。

削除: 「あなたの素材集」表示時の「あなたの素材集削除」をクリックするだけです。削除されたという画面に変わります。

注意: 登録を行ったパソコンでしか表示できません。システムとしては、クッキーというもので、それぞれのパソコンに登録を記録しておくものです。クッキーの設定をはずしたり、OSを再インストールしたりすると、登録はすべてなくなってしまいます。

あなたの素材集

目的

月毎に誰かが素材の選者になっていく、エディタズチョイスです。検索が浅く広くであるのに対して、ここでは狭く深い情報が掲載できます。

システム

選んだ素材一つ一つを登録していきます。登録されたものには、「花のマーク」が付きます。登録にはパスワードが必要です。(現在は非公開)登録に際して、選者のコメントを付け加えられます。(「今月の推薦者」+コメントという表示になります。)

可能性

この枠を広げて、選者のエッセイなど、より手の込んだものを掲載することができます。例えば、ワードなどで作った原稿と写真を送って頂ければ、個人紀行などをつくることができます。

課題

今はサンプルとして作成者の「高力」が選んだものが表示されますが、実際に選者を決めなければなりません。またその方のいろいろなアイデアが、コンテンツの彩りとなります。

みなさんの意見

●各会員が個人旅行等をした際の経験を共有する、『フォトエッセイ』コーナーは、どうですか？文章中心ではなく、写真を見れば、その人の経験して来たことがある程度分かるような。。。あるいは、『私にとっておきの一枚！』コーナー今まで経験した中で、どうしても忘れられない出来事。特別な思い入れのある写真を掲載してもらって、それについて語るコーナー。どうですか。

今月のおすすめ

目的

どの素材が人気なのかのバロメーターです。

システム

拡大写真にアクセスすると加算されます。

アクセスランキング

<p>トップページ3枚の写真</p>	<p>目的</p> <p>いわゆる What's New です。新しい素材が登録されたときの紹介になります。リピーター対策といえます。今の子供の写真はデータのなかのものから選んでいます。またクリックすると、国別カテゴリー検索に飛びます。</p>
<p>カテゴリー</p>	<p>システム</p> <p>複数の素材内容が共通すれば、新しいカテゴリーを設けていきます。数は無限大です。そのため全てを表示すると、選ぶのが大変になりますので、表示されているものはその一部です。カテゴリーの表題を(例えば乗り物)をクリックすると、その下の層のカテゴリーが全表示されます。</p> <p>課題</p> <p>いかにニーズの高いカテゴリーを充実させるかが大切です。このサイトの存在価値がそこに集約されます。</p> <p>みなさんの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カテゴリーについてですが、学校現場で、たとえば総合的な学習の時間に、児童・生徒が「調べ学習」で活用することを考えると、テーマ(例)「世界の衣・食・住について」「行ってみたい国の観光地や産物、行事等」などに対応するカテゴリー(写真)が必要ではないかと思われます。・Yahooの「きっず」サイトを覗いてみると、アート(絵、本、子供の作品)、エンターテイメント(音楽など)、科学(環境など)、趣味とスポーツ(スポーツ、おもちゃ、遊び)などがありました。・また、学習指導要領に、総合的な学習の例として挙げられている「国際理解教育」などから、文言を拾ってみようかなと思っています。 ●早速ハロウィンを見ました。多彩な写真が集まっていて楽しいですね。カテゴリーとしては、「1年の行事」とか「祭り」というのがあると、授業でとり入れやすいかなと思いました。 ●いろいろなりサーチをもとに需要のある写真をカテゴリー別に募集して、それにヒットする手持ちの写真を管理人さんに提出する、というのがいいと思いました。 ●中学校の教科書は種類が少ないので、その時期に使える素材を、例えば「new horizon の lesson 5 の導入に最適！」のように紹介しても良いかも、と思いました。 ●小中学校の先生が各学年でいつごろ何を教えるかがだいたい決まっているのならば、そのスケジュールに対応して各教科に応じたタイムリーな特集を組むのもいいですね。 ●塚本さんや辻さんの「この教科のこの場所で最適！」の紹介の仕方はとてもいいと思いました。加えて、実際に「授業でこれを使ったらとても効果的だった！」とか「生徒にうけまくった！」というユーザーのコメントや簡単な実践報告もあつたらもっと使う意欲につながるのではないかと思います。このページを見るのも大切ですが、実際に授業で使ったの意見はとても参考になる

	<p>と思います。 e-dream-s 通信 2001.11 No. 5</p>
掲示板	<p>現在のものは、最終完成までの内部意見交換のもので、広告のレンタルものです。完成後は、広告のでないオリジナルのものとなります。</p>
画像の拡大	<p>検索後の小さい画像またはタイトルをクリックすると拡大された画像にリンクしています。拡大画像は2種類あって、プリントへ取り込む小サイズと、A4横サイズです。それぞれには、何の画像か忘れないために、解説の抜粋がついています。また、A4サイズは15インチ画面では全面表示できませんので、小さいウインドウが立ちあがる形になっています。これは、ブラウザの全面表示のマークをクリックすれば、はみ出る形で、それぞれの画面サイズ最大に変えることができます。</p>
画像のダウンロード	<p>拡大サイズのそれぞれに方法が書いています。ホームページまるごとをダウンロードするのではなく、画像のみをダウンロードするのが基本です。A4サイズは、印刷の方向を確かめて下さい。</p>
拡大画像の広告	<p>拡大画像すべてに広告がついています。画像は容量が大きいため、それを格納しておくサーバーの容量が大きくなります。現在 e-dream-s でレンタルしているサーバーは 50MB ですが、現状でその数倍の容量になっているため、レンタルの容量を増やす必要があります。もちろん、それに際してレンタル料が加算されていきます。この問題を解決するため、国内外で無料でサーバーを貸してくれるサービスを利用することにしました。その代わりに、広告が出てくるという仕組みです。</p>
表示時間	<p>表示時間には、大きく3つの要因があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ページの容量 2、検索の速度 3、ブラウザ <p>1の場合、ページの容量を下げることで、例えば画像を小さくするなどの対処が必要です。もちろん見る側の環境によって数十倍の速度差がありますが、制作の基本としては、56k の普通回線をおいています。また、ネットスケープのいくつかのバージョンでは、ダウンロードに時間がかかることが報告されています。</p>

みなさんのアイデア

●『こんな写真、今すぐさがしてます(欲しい!)!』お助けボタンを入れたらどうでしょう。(高力--問題点が2つあります。まず、欲しい画像のリクエストを受けて、メンバーの誰かがその画像を私に送って掲載するまでにかかなりの日数がかかること、一般の人がヘルプを出しても、対応できないケースが多くなることです。このあたりの対処を考えて、是非ニーズを拾い上げたいですね)

- <写真のコメント>の部分について一人の司令塔の役割を務める人材が今後は必要になってくるように思いました。一定のチェック機能を作動させる必要があると思われます。
- コメントを書き足したり修正したりも簡単にできれば良いと思います。(高力一検索画面のコメントは、それぞれが書き換え可能ですが<パスワード要>拡大画面のコメントは再入力が必要になります。スパンを決めて、訂正文を提出してもらえれば対応できます。)

デザインの変更

みなさんの個々のご意見に対応して、大幅に手を加えています。以下には、現在対処中・考慮中のご意見のみを書き出しています。考慮中に関しては、どんどん掲示板で意見交換して下さい。(その他のご意見には、対応済みです)

画像の質

現在、ネット用に加工した素材をご用意して頂いていますので、届き次第、差し替えとなります。それに伴い、ダウンロードスピードもかなり改善される予定です。

検索エラー

馬と牛というキーワードで、違う検索結果が表示されるエラーがあります。現在調査中ですが、この言葉は「表」などのシステムエラー語ではなく、(30近い漢字が、エラーをおこす言葉になっています)苦戦中ですが、お時間を頂ければと思います。

表示の順番

検索システムでランダムに検索されるため、連続ものを順番通りに表示するのは困難です。しかし、連続ものは別個に独立したページにすることができます。

表示速度のため、検索結果はまず解説のみで

可能です。みなさんのご意見をお待ちしています。

スクロール不要の画面

私の工房は「NoScroll Studio」といって、ほとんどのデザインでスクロール不要のデザインを採用していますが、そのためには、一度に表示するコンテンツを最小限に抑える必要があります。現状、検索後の表示画像や、検索カテゴリーなどで15インチでは対応できない量のため物理的に困難です。例えば、検索後に画像を表示しないとか検索カテゴリーを削除すれば、可能性がでてきます。

HTML 講習会

～新境地への第一歩～

田 辺 恵 美

「HTML を習ってみませんか」と聞いて一瞬、戸惑いました。そんな難しいことができるようになるのだろうか……。HTML とは、ホームページを作るための「コンピューター言語」のようなもの（と私は思っています）で、ホームページはその HTML ファイルから作られています。私は、現在 e-dream-s のホームページを更新したりしていますが、それは、あらかじめ作られたデザインの中で指定された部分を変更させるだけのものです。また、最近、英語、中国語のページを作成しましたが、これはホームページ作成のためのソフトを購入して作ったもので、このソフトを使えば HTML を知らなくてもできるというものです。でも、HTML はそんなに難しくないらしく、10 時間ほど習えばマスターできるらしい、と聞いて半信半疑ながらも「やってみよう」と決心しました。

第一回目の講習では、まずは2ページ作るという目標で、あらかじめ用意した原稿をもとに HTML ファイルを作る方法を習いました。タグと呼ばれる記号や英語の文字を打ち込み、背景の色や文字の大きさを指定して、文章を貼り付けていきます。それをファイルに保存して、クリックして開くと、それが1枚のページになるのです。カラフルなページが画面上に表れた瞬間には、「おおーっ。」という歓声が上がりました。2ページ目にジャンプするリンクを指定して、とりあえずのページが完成すると、次はそれをインターネット上の上のせてもらう手続きを習いました。無料で自分の作ったホームページが登録できるのです。わずか数分のやりとりで、アドレスとパスワードが届きました。これにもびっくり。早速、作ったばかりの2ページを送信すると、もうマイ・ホームページが世の中に公開されました。講師の高力先生はとても熱心で、5人の生徒を相手に次々と手順を説明し、私たちが実際にページを作る方法を教えてくださいました。2時間の講習の予定が終わったころには、もう3時間を過ぎていました。宿題は、メンバー全員が登録を済ませ、自分のページを完成させることです。がんばるぞ、という決意を胸に帰路につきました。

第二回目の講習は、画像の取り込みと表（テーブル）の作成をマスターするという目標で、約3週間後に行われました。画像の取り込みは、その画像のファイル名を指定するだけで自分のページ上に絵や写真の画像が取り込まれます。私は、ストーブのイラストとパステル色の壁紙をインターネット上のフリー素材から取り込みました。取り込んだ瞬間にページがぱっとかわいくなって、また歓声を上げました。表（テーブル）の作成は、記号をいろいろと組み合わせて、表の列や行を増やしていく方法を習いましたが、なかなか数学的で、図形問題が苦手だった私には少しつらいところもありましたが、なんとか、見本のような表を作ることができました。でも、まだ理解できていないところもあるので、これはしっかり復習しなければなりません。今回の宿題は、指定された複雑な表を作ることです。できるかなあ、と少し不安が残りました。でも、出来るようにならないと次には進めないのががんばらねばなりません。

HTML は私にとっては、未知の世界です。まさに新境地への第一歩。大人になると、なかなか新しいことを始める機会がない中で、こういうチャンスに出会えたことは少し嬉しい気持ちになります。みなさんも機会があれば、是非、HTML の世界に足を踏み入れてみてく

ださい。趣味の一つに加えてみるのも楽しいと思いますよ。

News A CD-ROM 化プロジェクト

タイムトラベル キーワードピックアップ作業に参加して

岡田 かおる

過去の News A の CD-ROM 化をする、と聞いたとき、それはどのような方法をするのだろうか、できるのだろうか、と信じられない気持ちでいました。その後、「やると決めたらやるのです。」との飯田さん、丸野さんの CD-ROM 化プロジェクト進行報告を読みアクロスの偉大な先輩方の力を知ることになりました。少しでもお手伝いできたらと、膨大な量の NewA のうち、ほんの僅かの NewA の目次作成、キーワードのピックアップ作業に参加させていただきました。

担当したのは 95 年から 97 年にかけての NewA。私がアクロスに入会したのが 97 年 10 月ですから、ちょうど私の知らないアクロスに出会えることになりました。話に聞いていただけのアメリカ合宿のことが経験者の原稿からこちらも一緒に体験しているように感じられます。最初は緊張しながらの作業も次第に原稿を楽しみながらできるようになりました。ACROSSTALK、会長（当時）の原稿、マディソン通信、お仕事日記など、シリーズものは連続して一気に読むとさらに面白いことを発見しました。また、「異文化理解」、「英語で授業」などの言葉から、その時々、メンバーが何を意識して何に挑戦しているかが見えてきて、みんな悩みながら奮闘してきたことにちょっと安心し、また勇気がわいてきたりしました。

News A はアクロスの歴史、さらに言うと、英語教師たちの歴史、であることは間違いありません。News A には現在の活動にいたるまでの様々なメンバーの考えや行動が詰まっていると、作業をしながら感じました。新しい会員にとっても CD-ROM はきっと貴重なものになると思っています。

モンゴルのサイナーさんからのお便り

丸野有利子

以下のサイナーさんからのお手紙は、一部漢字に直した以外、まったく原文のままです。ゲル

の屋外コンロのそばで日本語の教科書をくり返し読んでいた姿が思い浮かびます。また大学に復学できたんですね。モンゴル行き、どうでしょうか、山田さん!?

有利子さん お元気でいらっしゃいますか。長い間になにも書けなかったことに、どうも申し訳ございません。この冬と春と夏の季節中、住んでいる両親に手伝っていただけから、手紙を出すことができませんでした。

今から文通できることに、とてもうれしいです。私がこの秋「タルハン」大学の日本語の教育や通訳のクラスに入学しました。だから、私は日本語で手紙を書けるようになるまで、いっしょけんめい勉強します。まだ先生がたに手伝って手紙を出します。

「タルハン」大学はタルハンホール アイマグにあります。九月三日に授業が始まりました。私は学生寮に住んでいますが、部屋に四人がいます。

家族は「アルタンボルグ」という土地へ引っ越しました。去年住んでいた土地で雪がたくさん降ったから、冷害になって、 -54°C まで寒くなりました。だから大数頭が減少しました。「アルタンボルグ」はモンゴルの最も北部にある土地で、ロシアとモンゴルの。

国境をつづんでいる土地です

ジャングは学校寮に住んでいます。二人の弟が「アルタンボルグ」の中学校に習って、学校寮に住んでいます。

有利子さん、去年の夏どこへ観光しましたか。来年の夏、モンゴルへぜったいいらっしゃるんでしょうね。あなた方といっしょに過ごした何数日のことは私にとって一生の一番良い思い出のある日でした。これをいつまでも忘れられません。

さようなら。お元気で。

サイナー

2001年10月30日

私の住所は：

DARKHAN-UUL AIMAG
CENTRAL POST P/O BOX 520
DARKHAN INSTITUTE
JAPANESE 1-B SAINAA

モンゴルからの手紙

理事 山田昌子

「まさこさん おげんきで いらっしゃいますか。」

モンゴルのサイナーちゃんから手紙が来ました。彼女の明るい笑顔が思い出されます。

2000年夏、私たちはモンゴルを訪問しました（註）。3グループに分かれ、それぞれ別の土地で「ほんまもん」のゲルに滞在するという体験をしました。私は、モンゴル大学の日本語教授ムンフツ先生のとついで、首都ウランバートルから車で2時間30分、約200キロのところにある、セレング県バヤンゴル郡のハクバ氏一族のゲルでお世話になりました。丸野さん（ハクバ氏のゲルに私と一緒に滞在した）、小関さん（シーレプ氏のゲル滞在）、浅野さん（ガンガー氏のゲル滞在）、稲川さん（バヤンモンフ氏のゲル滞在）、神住さん（エルデンツォクト氏のゲル滞在）と6名で行動したので、報告集を読んで覚えておられる人も少なくないと思います。

私は、ハクバ氏の長女サイナーちゃんとすっかり仲良くなり、彼女は大学2年まで日本語を学習していた（訪問時は休学中）ので、帰国後も時折日本語で手紙のやり取りをしました。が、ここ1年ほど文通が途絶えていたのですが、今日海外郵便が届いたのです。

サイナーちゃんは、9月からタルハン大学（タルハンオールアイマグ）の日本語教育科の通訳クラスに入学したそうです。先生方に手伝ってもらって日本語の手紙を書いているそうです。以前の短い手紙と比べると文章も長く、漢字も増え、一生懸命日本語学習に取り組んでいるのが、紙面から伝わって来ました。そういう頑張っている人の姿に触れることは心地よいものです。

「私は 日本語で 手紙を かけるように なるまで いっしょけんめい 勉強します。」

サイナーちゃんによると、昨年冬、-54℃まで気温が下がり、降雪も多く、沢山家畜が死んだそうです。私たちが訪問した土地にはもう住めなくなり、「アルタンボルグ」というロシアに近い土地に引っ越し、弟たちはその地の学校の寮に入っているそうです。

「来年の なつ モンゴルへ ぜったい いらっしゃるんでしょうね。あなたがたといっしょに すごした 何数日のことは 私に とって 一生の いちばん いいおもいのある日でした。これを いつでも わすれません。」

個人的にはサイナーちゃんやハクバ氏の笑顔が忘れられず、近い将来是非ハクバ一家を訪れたいと思っています。また、前回提案させていただいたように、e-dream-sの国際部員としても、是非モンゴル再訪問を企画し、異文化体験ツアーができればいいなと思っています。みなさん、いかがですか？

註：ACROSS アジアツアー10回目で、モンゴル訪問を企画（e-dream-sは後援）、教員交流プログラムのみならず、異文化体験プログラムであるゲル滞を実施した。

病院を「ひらく」～患者になって感じたこと～

中 川 房 代

「たかが3週間、何がわかるか?!」

言われてしまえば、返す言葉を多くは持たないが、3週間でも感じることはあるし、短いからこそわかることもある。しかし、これには但し書きが付く。「中川房代の場合」という限定版である。

9月の中旬から3週間の入院生活を経験した。幸せなことに今回が初めての入院であった。

教育改革と共に政府の「改革」の1つの目玉である医療の問題。医療費、医師の養成、医療事故、セカンドオピニオン、インフォームド・コンセント、など実に様々な課題があるが、私は自分が経験する際に一番興味を持っていたのはインフォームド・コンセントであった。情報公開の進む今日、医師がどう検査結果を説明し、患者がどう納得して、治療や手術などの医療行為を進めていくのかに興味があった。

さて、「中川房代の場合」は？

入院する前に通院していたクリニックでは、医師は検査で採取した細胞のプレパラートをモニター画面で拡大して見せながら結果の説明をした。手術する病院を決めるときも「あなたも自分で知り合いに尋ねるなどしてどこの病院がいいか情報を集めてください。手術するのはあなたなのですから。その上で私も医師として病院選択のアドバイスをします。」と言われた。ここまで進んできているのかという思いがあった。

一方、同じ医師に治療目的を聞いた後に注射を受けたが、その時はその注射がその後どのように効いてくるのかの説明はなかった。またその注射は驚くほどの高額であったが、注射の前に説明はなかった。次の診察時に、注射の効き方については「事前に説明すると動揺を与えようと思ったので言わなかった。」と説明された。私は、こういう風に効果が出てくるのだろうと予想していたのと実際が全く異なっていたので、薬が効いていないのかと心配の日々を過ごしていたのであった。私は注射の時に自分から尋ねるべきだったと反省し、その後は、1つ1つの薬の効果や副作用についてや疑問のあるところは自分から聞くようにした。

紹介してもらった大学病院では、手術直後、家族にはどういう手術をしたかの説明があり、摘出した臓器も見せられたそうだが、私には簡単な報告以外の説明がなかった。体調が落ち着いてから主治医に要求し説明してもらった。主治医は、カルテに貼られている手術中の心電図や血圧などのグラフや臓器のスケッチとデジカメの写真を見せながら、どういう手術をして、どういう症状だったかの詳しい説明をし、私の質問にも丁寧に答えてくれた。(デジカメで撮っ

た手術中の写真も何枚かプリントアウトしてもらった。)

私の場合は幸いにも良性だったので、治療方針を自分で選択しなければならない場面はなかったのだが、効果が50%なら副作用が嫌だから退院する、と自分で決めて退院していった患者もいたし、主治医と治療方針について意見の違いを議論している患者も見た。患者はなかなか遅しい。医学的な知識を多量に持っているわけではないが、患者間の情報交換はなかなか盛んで、経験に基づいているので結構説得力がある。

私が見聞きし体験した範囲では、医療現場における医師の側からの個人情報の公開は、小さなクリニックではその医師次第であり、大きな病院では個人の意識よりもその病院のシステムによるようである。ただ患者が要求すれば納得するように丁寧に説明してくれるし、患者の意思を尊重するようになってきているようだ。病院や医師は徐々にひらかれてきていて、その陰には医療関係者の努力があるのだと思うが、もう1つは一般市民や患者自身が公開を要求していくこと、その両方が必要なのだと思った。患者は身体の状態を一番よく知っているのは自分であるという自信を持つこと、自分の生き方は自分で決めるという自己責任を持つことが大切なのだと思う。

アメリカの心理学者であるダニエル・レビンソンは、アメリカ人のライフスタイルを研究し、40歳でギアチェンジをし、45歳までの間に老後に備える準備をすることで、それ以後の人生が充実したものになることを発見した（「ライフスタイルの心理学」講談社学術文庫、1992年）のだそうである。

私は何歳まで生きるかはわからないが、今年40歳を迎えて、人生の折返し点に来たことを感じていた。ここ2～3年、親との死別、介護の問題などで人生を考えるきっかけは与えられてきたが、今回自分が手術・入院の経験をしたことで、今までよりも自分自身や人生についてより深く感じることや考えることができたと思う。ここがこう変わった、という分析はできていないが、今までとは違った感じ方やものの見方ができるのではないかという予感はある。そういう意味で、3週間の入院生活と1ヶ月の自宅療養生活は私の人生のギアチェンジを始めるいいチャンスになったと思うし、何よりも心身共にリフレッシュできたのがよかったと思っている。

お知らせ***イベント情報***

□2001 ボランティア国際年記念「なにわボランティアフォーラム」

今回のフォーラムはボランティア国際年の総括として、21世紀に相応しい市民活動のあり方を模索し、新しいボランティアのスタイルを提言するとともに、市民活動のネットワー

クを広げ、市民の新しい活動のきっかけを提供するイベントです。是非参加しましょう！

□日 時：12/8（土）10：30～17：00

□会 場：大阪赤十字会館

（地下鉄・京阪天満橋駅下車 Tel:06□6943□0708）

□主 催：2001年ボランティア国際年大阪推進協議会（IYVO）

□参加費：1000円（シンポジウムのみ、分科会のみも同額）

□定 員：300名

□申込方法：所定の申込書に記入し、郵送またはFAXにて送付

□締 切：11月22日（木）必着

□問合せ先・申込書送付先：

大阪ボランティア協会 担当：名賀・海士

〒530-0035 大阪市北区同心1□5□27

Tel：06-6357-5741 Fax：06-6358-2892

□プログラム：

10：30～12：00 シンポジウム「市民活動は社会を変えることができるか」

13：30～16：00 分科会討議

第1分科会「情報の受発信とボランティアマネジメント」

ーIT社会におけるボランティアと情報の流れを考えるー

第2分科会「資金作りを中心として運営ノウハウ」

第3分科会「コミュニティで果たす役割」

ーまちづくりは、あなたの"思い"からはじまるー

第4分科会「未来を築く青少年」

ー青少年と考えるボランティアー

第5分科会「あなたがつくる楽しいボランティア活動」

ー自分にあった活動プログラムをつくってみようー

第6分科会「社会人から社会人へ」

ー新しいライフデザインを描いてみませんかー

16：00～17：00 全体会

□シンポジウム「NGOがひらく未来IV」

～ボランティアって何のため？国際ボランティアを始めるための5か条～

国際NGOの最新の活動状況や、国際ボランティアとして活動するためのポイント、準備のヒントを3つのセッションからなるプログラムから発見し、次なる私のための「ボランティア参加計画」を考えてみませんか？

□内 容：

1. 基調講演「ボランティアって何のため？」
筒井のり子氏（龍谷大学社会学部助教授）

2. NGO ブースまわり

3. トークセッション「国際ボランティアを始めるための5か条」

□日 時：12/1（土）13：30（受付開始）～18：00

□会 場：大阪市立弁天町市民学習センター講堂（弁天町オーク 2 番街 7 階）

□参加費：1000 円

□定 員：100 名

□問合せ：関西 NGO 協議会

Tel：06-6377-5144 Fax：06-6377-5148

URL：<http://www.sun-inet.or.jp/~knc/>

□2001年文化フォーラム「子どもと文化」～地域と教育現場から発信する～

21世紀を担う今日の子どもの精神形成に役立つ芸術文化のありようを発見できるような内容のフォーラムです。

□日 時：12/1（土）13：30～16：30

□場 所：大阪府立文化情報センター「さいかくホール」

（地下鉄谷町4丁目下車すぐ Tel:06-4790-8511）

□対 象：自治体文化・社会教育担当者、文化団体・教育関係者、一般・市民

□参加費：1000 円

□問合せ：大阪文化団体連合会 Tel:06-6949-4646 Fax:06-6944-7616